

まちづくり目標 4

人を育みみんなが学べるまちづくり

施策 2 6 保育環境

施策 2 7 子育て支援

施策 2 8 母子保健

施策 2 9 就学前教育

施策 3 0 学校教育

施策 3 1 生涯学習

施策 3 2 青少年健全育成

施策 3 3 文化財

施策 3 4 文化・芸術活動

施策 3 5 スポーツ・レクリエーション

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑭子ども・子育て支援の充実
施策26	保育環境		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
26-01 民間による認定こども園 や小規模保育園等の施設 整備の検討 継続【子育て支援課】	待機児童を発生させないための体制の確保を図るとともに、今後の保育ニーズの変化に注意し、必要に応じて民間による認定こども園や小規模保育園等の施設整備を検討する。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-02 保育士確保のための支援 策の検討、保育士の負担 軽減 継続【子育て支援課】	保育士資格取得のための奨学金制度の創設や、保育士資格を有しているものの保育に従事していない潜在保育士への就職支援金の交付等を通じて、就職支援に取り組むことを検討する。また、町内保育園等において、児童の体調管理や保育記録の作成等を補助するICTを活用したシステムの導入を推進する。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-03 保育所運営助成金の交付 継続【子育て支援課】	保育士の不足によって待機児童を発生させないため、保育士の処遇改善に向け、引き続き、町内の私立保育園等に対し助成金を交付するとともに、助成内容について適宜見直しを行う。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 26,735 千円	R2年度 26,640 千円
26-04 病児保育の実施(再掲) 継続【子育て支援課】	広域連携により、令和2年1月に西和地域の中核病院である奈良県西和医療センター内に病児保育施設を開設。今後、施設が不足すると見込まれる際は、新たな病児保育施設の誘致等を検討する。 取組 「奈良県西和医療センター」における病児保育の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 4,956 千円	R2年度 3,999 千円
26-05 放課後児童支援員の処遇 改善、負担軽減 新規【子育て支援課】	放課後児童支援員の人材確保対策として、勤続年数や研修実績等に応じた処遇改善を検討する。また、利用状況の管理や保護者への連絡、記録作成等の事務について、ICTの活用により支援員の負担軽減を検討する。 取組 学童保育の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-06 学童保育の充実 継続【子育て支援課】	子どもが安心して過ごせる環境を整えるため、学童保育を利用する児童数に応じて施設や備品の整備等を行うとともに、放課後児童支援員が研修を受講すること等により資質の向上を図る。 取組 学童保育の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 72,575 千円	R2年度 72,078 千円
26-07 在園第2子目の保育料減 免 継続【子育て支援課】	令和元年10月からの国の制度下による幼児教育・保育の無償化を実施。その対象外となる0歳から2歳までの子どもを持つ住民税課税世帯についても、経済的負担の軽減を図るとして、町独自施策として在園第2子目の保育料の全額減免を町の財政状況を見極めながら実施する。 取組 在園する第2子目の保育料減免	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 28,278 千円	R2年度 24,343 千円

施策27

子育て支援

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
27-01 ファミリー・サポート・センター事業の実施 新規【子育て支援課】	地域で子育てを支える取り組みとして、育児援助を提供したい住民と受けたい住民を会員として組織化。令和2年度から、子どもの一時預かりや送迎等の会員相互の援助活動を実行する。 取組 子育て支援体制の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 214 千円 R2年度 689 千円	
27-02 産前産後ヘルパー事業 継続【子育て支援課】	多胎や早産のおそれ、産後うつ等の症状があり、出産前後に周りの支援を受けることが困難である母親を対象に実施の「産前産後ヘルパー事業」について、一時的な体調不良等でも利用できるよう対象を拡大する。 取組 子育て支援体制の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 789 千円 R2年度 789 千円	
27-03 産後ショートステイ・デイケア事業 新規【保健センター】	令和元年度より、育児に不安がある産後間もない母親や、親族から支援がなく家事や育児等の日常生活を送ることが困難な母親へのサポートとして、提携先の助産院で母子で滞在しながら、助産師から産後の健康管理や育児についての必要な指導を受けられるサービスを実施。 取組 「すくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 714 千円 R2年度 1,000 千円	
27-04 すくすく子育て支援センター 継続【保健センター】	保健師等の専門職が、妊娠期から出産、子育て期にわたって切れ目ない支援を行う。子育てに関する相談に対応するとともに、必要に応じて関係機関と連携を実施する。 取組 「すくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,259 千円 R2年度 1,267 千円	
23-05 子育て広場（すくすく、わくわく、どんぐり） 継続【保健センター】	親子の交流や保護者同士の交流、専門職へ子育て相談ができる室内広場として、保健センター、いずみスクエア、文化福祉センターの3カ所に「子育て広場」を開設。 取組 「すくすく広場」の充実（地域子育て支援拠点事業）	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 5,408 千円 R2年度 5,871 千円	
27-06 心の相談 継続【保健センター】	心の健康について専門の看護師に相談できる機会を設け、よりきめ細かい子育て支援を行うことで、育児不安の軽減や虐待防止を図る。 取組 児童虐待防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 142 千円 R2年度 147 千円	
27-07 児童虐待等防止ネットワークの強化 継続【子育て支援課】	医療機関、教育機関、地域の関係機関と連携を深め、子どもの状況に応じて個別検討会議を実施するとともに、担当職員の専門研修の受講を促進する。 取組 児童虐待防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 30 千円 R2年度 30 千円	

施策27

子育て支援

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
27-08 児童虐待の早期発見 継続【子育て支援課】	地域の児童相談所に直接つながる「児童相談所虐待対応ダイヤル(189)」の普及・啓発を行うとともに、子育て家庭と妊産婦等を支援するため、児童相談所や保健センター等の関係機関と情報共有し、実態把握や相談対応等のソーシャルワークを行う「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向けて取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
	取組 児童虐待防止		R2年度	— 千円
27-09 ICTを活用した情報発信 継続【子育て支援課】	スマートフォンやタブレットで気軽に子育て施策に関する情報を得られるよう、広報紙や町公式サイトでの情報発信だけでなく、ICTを活用し、SNS等での情報発信に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
	取組 ICTを活用した情報発信		R2年度	千円

施策28

母子保健

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
28-01 第4次王寺町母子保健計画の推進 継続【保健センター】	平成30年3月に「Hands-onすこやか親子21(第4次王寺町母子保健計画)」を策定。その基本理念である「地域の愛につつまれて すくすく子育て 親育ち」の実現を目指して、ボランティアなど様々なメンバーと連携を図りながら事業に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	41 千円
	取組 「第4次王寺町母子保健計画」における支援事業の展開		R2年度	42 千円
28-02 乳幼児健診(4か月、10か月、1歳6か月、2歳、3歳6か月) 継続【保健センター】	4か月、10か月、1歳半、2歳歯科、3歳半の対象児に乳幼児健診を実施。健康状態や発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する保護者の不安の軽減を図るよう努める。また、未受診者を把握し、受診勧奨を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	8,242 千円
	取組 乳幼児健診の受診		R2年度	9,038 千円
28-03 子育て教室(ふれあいのつどい、ミッキークラス、エルモ) 継続【保健センター】	0歳児(ふれあいのつどい)、1歳児(ミッキークラス)、2歳児(エルモクラス)の親子教室を開催し、遊びを通して親の友達づくりや、育児不安の解消、情報交換の場を提供する。また、生活リズムや食事などの生活習慣をテーマに勉強会を実施。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,147 千円
	取組 生活習慣づくり		R2年度	1,281 千円
28-04 任意接種費用助成(風疹) 継続【保健センター】	妊娠中の女性が風疹にかかると生まれてくる赤ちゃんが先天性風疹症候群になる可能性があることから、風疹の流行を防ぎ、妊婦と赤ちゃんの健康を守るため、ワクチン接種費用の助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	900 千円
	取組 任意接種費用助成の継続		R2年度	600 千円

施策28

母子保健

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
28-05 任意接種費用助成(ロタ、おたふくかぜ、B型肝炎、インフルエンザ)	子どもの健やかな成長を実現するとともに、保護者の経済的な負担を軽減するため、予防接種費用(任意接種)の助成を行う。なお、令和2年10月よりロタが定期接種に変わるため全額公費となる。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 任意接種費用助成の継続	事業費 R1年度 8,220 千円 R2年度 5,895 千円		
28-06 パパママクラス	妊婦とその家族を対象に教室を開催し、妊娠期から参加してもらうことで、父親の育児参加を促進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 55 千円 R2年度 60 千円		
28-07 父親向けイベント「パパと遊ぼう」	父親の育児参加を促進するため、父親と子どもが遊びを通じてふれあえるイベントを開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 30 千円 R2年度 30 千円		
28-08 父子健康手帳の交付	子育てに必要な基礎知識を記載した「父子健康手帳」を希望者に交付し、父親の育児参加を促進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 45 千円 R2年度 42 千円		
28-09 一般不妊治療費用の助成	不妊に悩む夫婦の経済的かつ精神的な負担の軽減を図るため、一般不妊治療費用の助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 一般不妊治療費用への助成	事業費 R1年度 1,750 千円 R2年度 1,560 千円		
28-10 多胎妊婦健診費用の助成	多胎妊婦の適正な保健管理と経済的負担の軽減を図るため、15回目以降の妊婦健診費用の追加助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 多胎妊婦健診費用の助成	事業費 R1年度 100 千円 R2年度 100 千円		

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑮学校教育の充実
施策29	就学前教育		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
29-01 町立幼稚園での幼児教育推進事業 継続【子育て支援課 学校教育課】	五感を育む体験や基礎体力を向上させる取組、花や野菜を育てる環境教育、幼児と児童の交流等、人格形成の基礎を培うことのできる特色かつ魅力ある取組を推進する。 取組 町立幼稚園での幼児教育推進事業	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,000 千円	
			R2年度 1,000 千円	
29-02 町立幼稚園での預かり保育事業の充実 継続【子育て支援課】	保護者の子育てを支援するため、夏休み等の長期休暇中や、午後5時までの預かり保育を引き続き実施するとともに、実施日数の確保等を含め、保護者のニーズに対応できるよう見直しを図る。 取組 町立幼稚園での預かり保育事業の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 5,217 千円	
			R2年度 6,570 千円	
29-03 町立幼稚園での給食の実施 新規【学校教育課】	豊かな食の体験を積み重ね、食べる意欲を育み、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本となる「食を営む力」の基礎を培うため、令和4年4月開校の義務教育学校と併せて整備する新給食調理場を活用した町立幼稚園での給食の実施に向けて取り組む。 取組 町立幼稚園での給食の検討	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 30 千円	
29-04 ブックスタート・セカンドブック 継続【文化交流課】	親子のふれあい、子どもが本と親しむきっかけづくりとして、4か月健診時及び1歳6か月健診時に子どもとその保護者に対して、絵本を贈呈する。 取組 「ブックスタート」等の家庭教育の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 379 千円	
			R2年度 202 千円	
29-05 雪丸図書館ロボットの活用 継続【文化交流課】	雪丸ロボットを活用して絵本の読み聞かせ等を実施する。 取組 「ブックスタート」等の家庭教育の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 393 千円	
			R2年度 396 千円	
29-06 幼保小接続の推進 継続【学校教育課 子育て支援課】	幼稚園・保育園と小学校が連携して、園児・児童の交流や互いの教育を理解しあう教職員の研修会等、幼保小の円滑な接続を推進する。 取組 幼小接続の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 — 千円	
29-07 外国人講師による英語教育の実施 継続【学校教育課】	好奇心旺盛で感受性に優れ、言語能力が発達する幼児期に、ネイティブスピーカーである外国人講師による英語教育を引き続き行い、コミュニケーション能力・自己表現能力を育成する。 取組 英語教育の継続	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,736 千円	
			R2年度 1,736 千円	

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
29-08	将来の園児数や保護者のニーズを見通し、令和4年4月開校の義務教育学校の校区に合わせて園区を見直し、町立幼稚園の3園から2園への再編に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
町立幼稚園の園区の見直し				
新規 【子育て支援課】				
	取組 町立幼稚園の統廃合の検討	事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	420 千円

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
30-01 義務教育学校(小中一貫教育)設置【ハード】	「義務教育学校(北)」は王寺中学校敷地を中心に施設一体型の施設整備を、「義務教育学校(南)」については、王寺南小学校及び王寺南中学校の施設を利用した施設分離型の整備を、それぞれ着実に進め、いずれも令和4年4月に開校する。施設整備により、メディアセンターや、異学年や地域の方々との交流スペースとなるランチルームを配置するなど、時代に即した学習環境の確保を図る。また、食育の推進や食物アレルギーへの対応をはじめとして、安全で安心な給食を提供するため、義務教育学校の整備に合わせて時代に即した給食調理場を整備する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【義務教育学校設置準備室】	取組 小中一貫教育(義務教育学校)の推進 新給食共同調理場の整備			
		事業費	R1年度 640,700 千円	R2年度 3,653,890 千円
30-02 義務教育学校(小中一貫教育)設置【ソフト】	義務教育9年間の一貫した教育課程を心身の発達段階に応じた学年区切りとして、「1～4年生の前期(習得期)」、「5～7年生の中期(充実期)」、「8・9年生の後期(発展期)」の3つのまとまりで編成し、義務教育学校の強みを生かした教育の推進のため、「9年間の系統的な各教科等カリキュラム」や「特色ある教育カリキュラム」を作成する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【義務教育学校設置準備室】	取組 小中一貫教育(義務教育学校)の推進			
		事業費	R1年度 1,327 千円	R2年度 877 千円
30-03 電子黒板・タブレット等ICT教育の推進	ICT教育を推進するため、電子黒板やタブレット型パソコン等の設備や通信環境を整備するとともに、研修等で教員の指導力の向上を図る。国における「GIGAスクール」構想に基づき令和2年度から小中学校における高速大容量の通信ネットワークの整備に取り組み、児童・生徒一人ひとりへのパソコン配備も進めていく。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【学校教育課】	取組 電子黒板・タブレット等ICT教育の推進			
		事業費	R1年度 37,069 千円	R2年度 100,000 千円
30-04 国際化に対応した英語教育	国際人として求められる資質・能力を育むため、ネイティブスピーカーである外国人講師を派遣し、実践的な英語教育を引き続き実施する。また、中学3年生での英検3級取得をめざして、令和元年度は、英語教育の先進地である福井県に視察を行い、引き続き両中学校において、英検対策講座を実施する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【学校教育課】	取組 国際化に対応した英語教育			
		事業費	R1年度 10,211 千円	R2年度 14,126 千円

施策30

学校教育

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
30-05 AI発展とプログラミング教育 新規【学校教育課】	AIによる一人ひとりの習熟度に応じた学びを実現するため、児童の理解度に応じた復習教材を提供する「個別最適化学習システム」を導入する。また、児童生徒がコンピューターに意図した処理を行うよう指示する体験をさせながら、プログラミング的思考を育成する「プログラミング教育」を推進する。（令和2年度から小学校で必修化） 取組 AI発展とプログラミング教育	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 — 千円	
30-06 「王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)」の充実 継続【生涯学習課】	地域の経験豊富な人材を活用して、放課後に宿題や予習、復習、教材プリントによる学習を行える機会を提供することで、町内の小中学生の学力及び学習意欲の向上を図る。 取組 「王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 14,616 千円	
			R2年度 13,895 千円	
30-07 いじめの未然防止、早期発見・再発防止 継続【学校教育課】	「王寺町いじめ防止基本方針」等に基づき、教職員や保護者、PTA等の地域の関係団体が連携して、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応、再発防止に取り組む。 取組 いじめの未然防止、早期発見・再発防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 — 千円	
30-08 地域の歴史を学ぶ～郷土愛の醸成～ 継続【学校教育課】	聖徳太子の愛犬「雪丸」を活用しながら、生まれ育った地域の豊かな自然や歴史等に親しみ、理解を深め、郷土への愛着や誇りを育む。 取組 地域の歴史を学ぶ～郷土愛の醸成～	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 — 千円	
30-09 中学生議会 見直し【学校教育課】	町行政の仕組みについて理解を深めるとともにまちづくりへの関心を高めることを目的に、「中学生議会」を開催する。 取組 まちづくりへの関心を高める機会の創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 51 千円	
			R2年度 55 千円	
30-10 子ども一日町長体験 継続【政策推進課】	「まちづくり」に対する理解と関心を深め、ふるさとを愛する気持ちを育てることを目的として、小学5・6年生を対象にした「子ども一日町長体験」イベントを開催する。事前に「自分が町長になったら」をテーマにした作文を募集し、応募してきた児童から約10名を選考。議場での所信表明や町内施設の巡回、町長との懇談等の内容で実施。 取組 まちづくりへの関心を高める機会の創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 67 千円	
			R2年度 64 千円	
30-11 学校や地域との連携による環境教育の推進 継続【学校教育課】	地域の団体の協力のもと、菜の花の栽培や菜種油の採取、さつま芋の苗植えや収穫体験、また「花いっぱい運動」などを通して、自然を大切にする心や環境美化に対する意識の向上を図る。 取組 学校や地域との連携による環境教育の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	
			R2年度 — 千円	

学校教育

46

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑯生涯学習の充実
施策31	生涯学習		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
31-01		R1年度	R2年度	R3年度
人材バンク制度の創設	文化活動や体育・スポーツの知識・技能を有する人を指導者として登録、活用する「人材バンク制度」を創設し、様々な生涯学習の機会を提供する。			
新規【生涯学習課】	取組 新たな学習機会の提供と人材確保	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
31-02		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町文化祭	日頃の生涯学習の学びの成果としての作品や演技、演奏をより多くの人に見てもらえるよう、「奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭」に参加するなど幅広い世代の参加に向けて取り組むとともに、次代に即した開催内容を検討する。			
継続【文化交流課】	取組 「王寺町文化祭」の実施	事業費	R1年度 817 千円	R2年度 1,191 千円
31-03		R1年度	R2年度	R3年度
町立図書館のリニューアル【ハード】	幼児期からの読書習慣の定着を促すため、子育て世代に優しい図書館となるようリニューアルを行う。 ・児童書コーナーの充実 ・授乳室の設置			
新規【文化交流課】	取組 図書館の利用促進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 16,010 千円
31-04		R1年度	R2年度	R3年度
公民館等の設備更新【ハード】	老朽化が進む南公民館ややわらぎ会館について、計画的に照明や音響等の設備の更新が行えるよう、個別施設計画を令和2年度に策定し、時代に即した改修方法を検討する。			
新規【文化交流課】	取組 公民館等の設備更新	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 201,000 千円
31-05		R1年度	R2年度	R3年度
施設の効果的な運営（指定管理）	生涯学習施設の拠点となる「いずみスクエア」をはじめ、施設の管理運営について、地域の活力向上並びに住民ニーズに合った行政サービスが提供できるよう、民間事業者による指定管理者制度等の導入を検討する。また、施設利用料の見直しを行うとともに、広域での公共ホール等の相互利用を検討する。			
新規【生涯学習課 文化交流課】	取組 施設の効果的な運営	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
31-06		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町生涯学習施策基本計画策定	住民誰もが学び、その成果を活かすことができる環境づくり、住民の生涯学習の支援につながる施策の更なる推進に向けて、その指針となる計画を策定する。			
新規【文化交流課】	取組 生涯学習施策に関する基本計画の策定	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

施策32
青少年健全育成

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
32-01 CS(学校運営協議会制度)の導入 継続【生涯学習課】	学校と地域とのつながりを深めるため、保護者や地域住民とお互いの課題や情報を共有して「地域と共にある学校づくり」を目指し、令和4年4月に開校する義務教育学校にふさわしいコミュニティ・スクールを導入する。 取組 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の検討	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	28 千円
32-02 家庭教育学級の支援 継続【生涯学習課】	子どもたちの健全な成長につなげるため、子育てに関する研修会を開催するとともに、子育て中の悩みを解消する機会を設けるなど、各家庭の子育てを支援する。 取組 家庭教育学級の支援	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	320 千円
			R2年度	320 千円
32-03 野外体験活動 継続【生涯学習課】	海や山村での自然体験活動を実施することにより、未来を担う子どもたちが、たくましく生き抜く力を育成する。 取組 自然体験活動の実施	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	501 千円
			R2年度	582 千円
32-04 子ども会野外体験活動支援 新規【生涯学習課】	未来を担う子どもたちが、たくましく生き抜く力を育成するため、子ども会が実施する野外体験活動を支援する。 取組 自然体験活動の実施	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
32-05 菩提キャンプ場リニューアル【ハード】 完成【生涯学習課】	実施事業者(指定管理者)による施設整備や管理運営により、自然共生型のアウトドアパークとして子どもから大人まであらゆる世代の人が自然の中で安心して遊べる施設として、菩提キャンプ場をリニューアルを実施。 取組 子どもの居場所づくり	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	41,600 千円
			R2年度	— 千円
32-06 青少年リーダー育成事業 新規【生涯学習課】	集団の中で自主的、指導的な行動ができる青少年リーダーを確保するため、中高生を対象としたジュニアリーダー養成研修会の開催や児童文化協会への引き続いての支援等により、次世代のリーダーを育成する。 取組 青少年リーダーの確保	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策32
青少年健全育成

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
32-07		R1年度	R2年度	R3年度
子どもの地域事業参加促進	地域の祭りや町の行事への子どもたちの参加を促進する。			
継続【生涯学習課】	取組 地域行事への参加促進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
32-08		R1年度	R2年度	R3年度
児童生徒安全確保強化事業	地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会を構成する社会教育団体と連携し、児童生徒の安全確保のための取組を強化する。			
継続【生涯学習課】	取組 地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会の活動強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
32-09		R1年度	R2年度	R3年度
「あいさつ+1」運動推進事業	子どもの規範意識の向上を図るとともに、青少年を非行や犯罪から守るため、モデル地区を設定して、「あいさつ+1(プラスわん)」運動の定着を進め、町内全域への拡大を図る。			
継続【生涯学習課】	取組 「あいさつ+1(プラスわん)」運動の推進	事業費	R1年度 322 千円	R2年度 673 千円
32-10		R1年度	R2年度	R3年度
青色防犯パトロール強化事業	学校・家庭・地域社会の三者が一体となって、青色防犯パトロール車による見守りを強化するため、下校時のパトロール実施回数を増加させるとともに、企業や自主防犯団体等と連携のもと、青色防犯パトロール車両の増強を図る。			
継続【生涯学習課】	取組 青色防犯パトロールの強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑪歴史文化・スポーツ活動の振興
施策33	文化財		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
33-01 片岡山のほとり レプリカ作製・活用 【ハード】 継続【地域交流課】	明治44年(1911)に橋本閑雪が聖徳太子と達磨大師が 出会う片岡飢人伝説を題材に描いた屏風絵「片岡山のほとり」のレプリカ(複製品)を令和元年度に製作。令和2年度以降に達磨寺のほか東京講演等でも展示し、飢人伝説や達磨寺の魅力を発信する。 取組 「王寺町文化財保存活用地域計画」の実現	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 2,700 千円 R2年度 — 千円	
33-02 文化財事業を目的とした 「ふるさと寄附金」の募集 継続【政策推進課】	令和元年度にふるさと納税が達磨寺方丈の保存修理に必要な額に到達したことから、令和2年度からは町の文化財保存活用地域計画に基づく事業を使用目的として募集する。また企業版ふるさと納税について、令和2年度税制改正により企業側が利用しやすくなったことから、町事業を積極的にPRして寄附を募る。 取組 ふるさと寄附金による文化財の保存・活用に対する支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
33-03 達磨寺方丈イベント支援 新規【地域交流課】	達磨寺方丈の保存修理が完成(令和2年12月)した後、江戸時代の建物が醸し出す歴史的空間の良さを生かして、コンサートの開催やギャラリーとして利用し、多様な人々の交流を生み出す場として活用する。 取組 達磨寺方丈の歴史的空間を生かしたイベントの開催	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 2,491 千円	
33-04 西安寺跡活用事業 継続【地域交流課】	飛鳥時代寺院の遺構が良好に残り、古来の交通路である大和川の南岸にある「西安寺跡」について、令和2年度まで発掘調査を行う。その後、学校教育や観光資源として活用できるよう整備を行うため、国史跡への指定をめざす。 取組 西安寺跡発掘調査の公開と活用	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 5,322 千円 R2年度 3,000 千円	
33-05 歴史・観光VR・アプリ、学習 プログラム開発(明神山眺望 ガイド) 新規【地域交流課】	明神山からは百舌鳥・古市古墳群や法隆寺、平城京、紀伊山地等が見え、これらを舞台にして起こったできごとが歴史絵巻のように楽しめる眺望を備えている。こうした歴史的眺望を楽しみ、明神山の魅力の向上・周知を図るため、令和2年度に「文化財保存活用地域計画等を活用した観光拠点づくり事業」補助金を活用しながらコンテンツを開発する。 取組 明神山からの歴史的眺望の活用	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 15,401 千円	
33-06 歴史講座(歴史リレー講座・ プレミアムサロン)の開催 継続【地域交流課】	毎月第3日曜日に地域交流センターで、県内の歴史文化等に関して著名な講師陣による「歴史リレー講座」を開催。また、明神山での現地学習と複数回の座学による講座が魅力の「歴史プレミアムサロン」を開催。 取組 明神山からの歴史的眺望の活用	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,580 千円 R2年度 1,625 千円	

施策33	文化財
------	-----

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
33-07 2市2町広域観光ルート整備推進協議会(ソフト)	隣接する2市2町(柏原市、香芝市、三郷町、王寺町)で連携し、広域観光ルートづくりに取り組んでいる。ウォーキングマップ、HP、イベント等でルートを活用し、エリアの魅力化に取り組む。またルート活用の機会拡大のため、関西圏のウォーキング協会に働きかける。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 明神山からの歴史的眺望の活用			
		事業費	R1年度	1,500 千円
			R2年度	1,500 千円
33-08 歴史冊子・パンフレットの刊行	住民と行政が一体となった文化財の保存・活用を進めるにあたり、まずは住民の文化財に対する関心を広げ理解を深める必要があるため、「王寺町文化財保存活用地域計画」で定めた関連文化財群をわかりやすく伝えるためのパンフレットを作成する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【地域交流課】	取組 住民と一体となった文化財の保存・活用			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
33-09 観光ボランティアガイド補助・養成(観光協会)	達磨寺の定点ガイド(土・日・祝日)やウォーキングイベント開催など、町の魅力を発信されている王寺観光ボランティアガイドの会(現在40名)を支援するため、養成講座による人材育成等に対する補助を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 住民と一体となった文化財の保存・活用			
		事業費	R1年度	300 千円
			R2年度	300 千円

施策34	文化・芸術活動
------	---------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-01 各ホールの特性を生かした文化事業(民間のノウハウ)	文化福祉センター大ホール、いずみスクエアいずみホール、やわらぎ会館イベントホールについて、各ホール個々の施設の特性を生かした吹奏楽やコーラス、ハンドベルやピアノのコンサートなどの文化事業を推進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 多彩な町主催の文化事業			
		事業費	R1年度	4,063 千円
			R2年度	4,357 千円
34-02 奈良県主催事業、大学との連携	奈良県主催の「ムジークフェストなら」や「奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭」に町が参加し、様々な事業を実施するとともに、文化芸術活動が盛んな大学と連携し、コンサートや展示会を開催する。町民だけでなく、誰もが文化芸術に触れられる機会を提供・発信する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 奈良県主催事業、大学との連携			
		事業費	R1年度	1,377 千円
			R2年度	1,752 千円
34-03 伝統文化体験事業	伝統文化の継承・発展と子どもたちの豊かな人間性の涵養につながるよう、「伝統文化体験教室」を実施する。また、教室OB・OGの活動についても、発表の機会の創出等を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 伝統文化体験事業			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策34
文化・芸術活動

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-04 誰もが発表できる機会の提供	「リーべるアラカルト」「いずみアラカルト」での活動披露や、いずみスクエア内の「いずみギャラリー」等における展示など、町内外を問わず誰もが文化芸術活動を発表できる場を提供する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 誰もが発表できる機会の提供			
		事業費	R1年度	11 千円
			R2年度	11 千円
34-05 障害者による文化・芸術活動への支援	いずみスクエア内の「いずみギャラリー」等において、障害者の文化芸術活動や交流・発表の機会を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 障害者による文化・芸術活動への支援			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
34-06 文化芸術団体の運営支援	ジュニア団体をはじめ、大人によるハンドベルや吹奏楽のチームなど、町が支援する「音楽のあるまちづくり」の活動を継承・発展させるため、指導者の確保や練習・発表の機会を提供するとともに、広報をより充実させ、加入者数の増加を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	2,830 千円
			R2年度	2,830 千円
34-07 文化芸術活動の担い手育成	「王寺オペレータークラブ」の安定的な活動が継続できるよう、スタッフ募集や他団体のホールを視察するなど、文化芸術活動の担い手の育成を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策34	文化・芸術活動
-------------	---------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-08 音楽のあるまちづくりの推進	明神山や達磨寺、大和川ふれあい広場での自然と歴史を感じるコンサートや王寺駅前での街角コンサートなど、住民や来訪者が気軽に町中で音楽に触れ合えるよう、王寺町の地域特性を生かしたイベントを開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	560 千円
			R2年度	561 千円

施策35	スポーツ・レクリエーション
-------------	---------------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
35-01 「やわらぎトラスト」支援事業	地域コミュニケーションと健康づくりに貢献するため、子どもから高齢者まで気軽に参加できる各種スポーツ教室「王寺やわらぎトラスト」の充実を図り、スポーツに取り組む機会づくりを進める。また、事業の透明化や体制強化のため法人格の取得を目指すとともに、安定した運営を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の充実			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
35-02 ラジオ体操推進事業	NHK巡回ラジオ体操を誘致するほか、ラジオ体操を子ども会だけでなく、身近なサロン活動の場でも実施するなど、場所・機会を拡大し、参加者を増加させる。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 ラジオ体操の推進			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	520 千円
35-03 スポーツを推進する人材確保	体育協会やスポーツ推進委員の活動内容について、積極的に広報を行い、新たな加入を促すとともに、担い手となる人材の確保やスポーツ講習会の開催等を通じて、スポーツ人口の増加につなげる。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【生涯学習課】	取組 各種スポーツを推進する人材の確保			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
35-04 和マラソン大会の充実	体力向上や健康増進だけでなく、コミュニケーションの場として、また、王寺の師走の風物詩として今後も継続して実施する。参加者の安全確保や満足度向上にむけて、ゲストアスリートの招致などで魅力を高める。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 和マラソン大会の充実			
		事業費	R1年度	2,669 千円
			R2年度	2,339 千円
35-05 町民体育大会リニューアル事業	住民の健康増進と体力の向上、住民相互の親睦を図るため、参加自治会の拡大を図るほか、企業や個人の参加を促すため、少人数でも参加できる仕組みや競技種目の検討を行う。また、模擬店を含めイベントの充実を図り、その魅力を積極的にPRする。	R1年度	R2年度	R3年度
見直し【生涯学習課】	取組 気軽に参加できる町民体育大会の開催			
		事業費	R1年度	1,512 千円
			R2年度	1,050 千円

施策35

スポーツ・レクリエーション

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
35-06		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町スポーツ教室	新たに整備した「いずみアリーナ」を利用して、トップアスリートを活用したスポーツ教室を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」等の開催	事業費	R1年度 500 千円	R2年度 500 千円
35-07		R1年度	R2年度	R3年度
こころのプロジェクト事業「夢の教室」	夢やあこがれをもち、スポーツを始めるきっかけとなるよう、引き続き「夢の教室」を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」等の開催	事業費	R1年度 650 千円	R2年度 648 千円
35-08		R1年度	R2年度	R3年度
新テニスコート整備事業【ハード】	現在の泉の広場テニスコートが都市計画道路元町・畠田線の計画線上に位置し代替施設が必要なことから、整備予定の葛下貯留池を平時にはテニスコートとして有効活用できるよう整備する。（令和5年度完成予定）			
新規【生涯学習課】	取組 新テニスコートの整備	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
35-09		R1年度	R2年度	R3年度
指定管理者制度導入	体育施設の管理運営について、指定管理者制度の導入を検討し、サービスの向上を図る。			
新規【生涯学習課】	取組 体育施設の管理運営	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
35-10		R1年度	R2年度	R3年度
体育施設改修事業【ハード】	令和元年度に、王寺アリーナ内のトレーニングルームのリニューアルを実施。今後、空調の整備をはじめ計画的な施設改修を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 体育施設の管理運営	事業費	R1年度 13,753 千円	R2年度 11,636 千円
35-11		R1年度	R2年度	R3年度
大和川ジョギングコース活用推進事業	大和川ジョギングコースを活用して、近隣町と連携したイベント開催を実施する。また、夜間でも安心して走れるよう、照明施設の整備や更衣スペースの確保などアメニティーの充実を検討する。			
新規【生涯学習課】	取組 大和川ジョギングコースの利活用	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円